

家ぞくでごはん

長崎南山小学校 三年 鬼塚 陽子

あたしには、楽しみがあります。それは、お父さんとお母さん、わたしの家ぞく三人で、毎月、おすしを食べに行くことです。

わたしのお父さんは、お仕事がいそがしくて、ふだんごはんをいっしょに食べる時間がありません。いつもはごはんはお母さんと二人で食べます。なので、お父さんのお仕事がお休みのときに、三人でおすしを食べに行く

のが楽しみです。たまには、おじいちゃんやおばあちゃん、おじさんたちもいっしょにいたいし、みんなでご飯に行きます。

わたしは、食べるのがとてもおそくて、学校のきゅう食は、小学校に入ってから三年生の今までに、まだ十回も食べ終わらなかったことがあります。

でも、家ぞく三人で食べるおすしはとてもおいしくて、お父さんやお母さんと同じ量でも全部食べて、おかわりまでするほどです。



いつも行くおすしやさんでは、おすしやさんのお兄さんやおじちゃんが目の前で作ってくれます。あたし用は、一口サイズに小さくしてもらって、おさびをぬいてもらいます。一番好きなのは、まぐろのおすしで、中トロやて、かまきがお気に入りです。

三人でおすしを食べながら、学校でのきごしや、お友だちのこと、水泳と習字など、ならいごとの話をします。お父さんはいつもうれしそうににこにこしながら、話を聞いて

くれます。

去年の秋に習字の大会で一番上のしよをとったときや、今年の春に水泳の大会でクロールで一番をとったときには、おすしやさんでおいおいのプレートも出てきました。お父さんやお母さん、おすしやさんのみんなからもおいわいしてもらったのがとてもうれしくて、またがんばろうと思いました。

今月はまだ何を話そうか、今から楽しみにしています。